



▲遠藤圭一 備中県民局長と

県の里まちづくり推進協議会
 会長 岡田章文

去る11月9日、岡山県備中県民局で、表彰式があり、山本勝禧副会長とともに出席しました。この賞は、「かかしコンテスト」の開催をとおしたにぎわい創出や高齢者等の生活支援を目的に行っている「便利屋さん事業」、耕作放棄地解消に向

備中県民局
 「地域づくり賞」受賞



第37号

発行
 県の里まちづくり推進協議会
 県主地区自治連合協議会
 県主公民館
 県主地区社会福祉協議会
 県主地区防災会



けた「焼耐用品」栽培
 培、地域内の各種団体と共に行っている「広報紙みんなの県主」の発行など、地域の活性化を図る活動を総合的に評価していただいたものと思われま

県の里まちづくり推進協議会は、平成24年5月の設立以降、地域内の各種団体や地域の皆さまのご協力をいただきながら、スタッフの支援により、少しずつ活動を進めてきました。その成果であろうと感じています。今後ともさらに地域課題の解決に主眼を置いて活動を進めて行きたいと考えています。どうぞよろしくお願

県の里まちづくり
 推進協議会の活動

みのりの里部会 藏本哲治

県主に広がる美しい田園風景を生かし、今後の農業のあり方を考えるきっかけづくりになればと始まったかかしコンテスト。テーマを「農業」と題し今年で11回目を迎えました。今年も、個性あふれる高レベルの作品66体がエントリーしました。出展者は、東は千葉県、西は広島市と広域にわたり、見学者も県内外から大勢の方々が来場されました。来場者のコメントには、「毎年レベルアップして凄い」「毎年見に来るのが楽しみ」など高評価を頂いております。表彰は、10月20日にかかし展示会場にて行い、協賛頂いております七団体からの豪華景品に、出展者も大絶賛でした。今年も地域皆様のご協力を頂きまして、盛会のうちに終わることができました。

また、耕作放棄地の解消と、



地元特産品の開発を目的に始めた、芋焼酎「里の夢」作り。今年、10年目となる焼酎芋「黄金千貫」の収穫を、11月16・17日の二日間で行いました。今年は、長い夏で少雨のうえ猛暑で、収穫量を心配していましたが、思いのほか豊作で安堵しました。そして、この度収穫した芋は、来年3月には新酒として販売されます。皆さん、「里の夢」を、ご賞味ください。



第4回県主地区防災訓練

11月3日、好天に恵まれ、第4回目となる防災訓練を県主地区全域で盛大に実施することができました。当初予定した日に選挙があり日程を変更したためか、例年より少し参加者が少なかったようですが、総勢167名が参加した大規模な訓練になりました。高齢者や要支援者の方、そして土砂災害警戒区域の方をはじめ多くの方に参加していただきました。また、訓練実施にあたっては、井原市役所や井原消防署の方々、そしてTOMODOKタスクチームや県主小学校のご協力を得て円滑に訓練を実施することができました。心よりお礼申し上げます。

県主地区防災会 会長 藤井千秋

今回も、災害発生時に即応できるようにするために七種類の訓練を実施しました。各地区にある公民館などの自主避難場所から指定緊急避難場所の県主小学校体育館まで避難をする「避難誘導訓練」、災害時に要



支援者などの安否を確認する「災害時安否確認訓練」、防災会役員による「災害時対策本部設置訓練」、水消火器や粉末消火器を使用し「初期消火訓練」、訓練用AEDやマネキンを使用し心肺蘇生を訓練する「救命救急訓練」、そして、非常食の試食と豚汁を提供する「炊き出し訓練」、さらにペットを飼っている方々を対象とした「ペット同行避難訓練」を実施しました。

一連の訓練を通して、地域の方々の防災意識を高め

ることと防災会メンバーのスキルを磨くという所期の目的は少なからず果たすことができましたと思います。ただ、他地域のイベントなどへ参加する方が多く、子どもたちの参加も少なかつたため、来年以降はより参加範囲を広めて地域が一体となることができるような訓練内容を考えていきたいと思っております。皆様のご協力を切





災害時の避難誘導に際しては、日々の訓練が非常に役立つことは、東日本大震災やお正月の能登半島地震の教訓などで証明されています。各自治会長を中心に常日頃から信頼関係を築いておくことが大変重要になりますので、このような訓練の機会を是非活用していただきたいと思えます。

さて、今年はお正月の能登半島地震をはじめに、全国いたるところで地震や大雨洪水、土砂災害など甚大な被害が出ています。8月には「南海トラフ地震臨時情報」も出され、皆様少なからず不安感を持たれたものと思えます。30年以内の発生確率が70%、80%といわれている南海トラフ地震は、井原市の中でも県主は最も揺れが強く、震度6弱と推測されています。震度6弱といえ、立っていられないほどの揺れで、家具などが倒れたり、家が傾いたり倒れたりするという揺れです。



大地震の場合は市や消防署からの救援、救助がすぐには得られるとは限りません。そのような時に、自分たちの地域は自分たちで守るという「自助」と、災害時に支援の必要な方などに手を差し伸べるという「共助」の精神が求められるわけです。そういう災害がないこ

とを祈りますが、万が一に備えて、このような訓練を毎年続けていくことによつて「自助」と「共助」の精神をお互いに培うことができます。何卒、今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いします。



社協健康講座

地区社協 森下和美

11月30日、健康づくり活動事業として「自律訓練法」の体験会が17名の参加を得て、日本自律訓練学会会員の藤井純彦氏が講師を務め開催されました。

自律訓練法は「自分で自分を訓練」する健康法で、自分を催眠状態に導いて心身相関と言う人本来の力を利用する訓練法です。

参加者はDVDによる説明ののち、講師の指導により実際に体験をしました。

自立訓練法の効果には個人差はありますが、精神、身体活動が安定すること、

- 疲労の回復
- 穏やかな気持ちの獲得
- 自己統制力の増加による衝動的行動の減少
- 仕事や勉強の能率の向上
- 身体的な痛みや精神的な苦痛の緩和
- 向上心の増加

などの効果があるようです。私たちは日々、さまざまなストレスを受けて生活しています。ストレスを解消して、心身とも健康な日々が送れるよう、皆さんも自立訓練法を理解していただければと思います。



12/8
注連縄集会

県主のわだ い



11/30 社協健康講座



8/12 鳥羽陵御霊供養



12/5 門田楽寿会親睦旅行



12/8 粗大ごみ回収



きのこ荘へ出張中のふるさとかし



12/4 ふれあいサロン (地域の方と楽しく交流)



第49回県主ハウス祭り

第49回県主ハウス祭りが天候にも恵まれ、盛大に開催されました。今年は、参加者が多く来場されるのではないかと、小学校の学習発表会と同時に開催されました。

テント村では、ゆつくりとコーヒーを飲みながら多くの方が地区の人々とふれあいを深めておられたようでした。小学校の発表会が11時頃まであったためか、人出も少なく盛り上がりにか



文化部長 山本俊和

かけていたようでした。

また、体育館では各種団体・個人による展示物が数多く出品されお客様も熱心に観賞されていました。県主にはいろんな趣味を持つておられる方が多く展示品も素晴らしいものばかりでした。11時を過ぎたところから、人出も多くなり子どもたちも増え従来のハウス祭りの賑わいが戻り、各テント村も忙しそうでした。

芸能大会が始まると、会



場前には多くの人が集まりピアノ演奏をかわきりに、子どもたちによるダンス、バンド演奏ありと皆さんも楽しんでいただいたと思います。最後に、ハウス祭り開催に向け文化委員の皆様、作品を出展していただいた皆様本当にありがとうございました。

おめでとう！
満百歳！

社協会長 佐藤和子

9月14日に、門田町実相の岡田清子さんが、満百歳の誕生日を迎えられました。県主地区社会福祉協議会から訪問し、お祝金を渡ししました。

清子さんは、百歳とは思えない元気で、お嫁にいられた頃のことなどを明るくお話ししてくださいました。編み物が堪能で、機械編みの先生をしてもらったそうです。清子さんが編まれたセーターをよく着ていたという思い出を娘さんからもお聞きしました。今はデイサービスも利用されていますが、一人で過ごされる日もあるという元気に、びつくりでした。清子さん、いつまでもお元気でお過ごしください。



県主地区敬老会

自治連女性部 森本峰子

9月8日、敬老会を開催しました。県主地区には79歳以上の方が186名おられ、そのうち21名の方が参加してくださいました。

ご長寿と健康を祈願して神事をとりおこない、式典にうつりました。井原市と県主地区自治連合協議会から記念品が贈られ、森下公民館長からお祝いの言葉をいただきました。在宅で最高齢は百歳になられる実相の岡田清子さんです。米寿を迎えられる方が11名で井原市からお祝いが贈られました。

お楽しみ会では、幼稚園児からのビデオメッセージが映し出され、ほっこり。続いて井原吹奏楽団メルヘンウィンドアンサンブルの演奏に合わせて、みんなで一緒に歌い楽しいひと時を過ごしました。近況報告では、今年初めて参加したが楽しかった。久しぶりに会った人と話げできた。



来年も参加できるように元気で過ごしましょう！と力強いお声をいただきました。

当日参加されなかった方には各地区自治会長さんのご協力により、記念品をお渡しすることができました。参加して下さる方が少なく敬老会の行事のあり方を見直しが必要になる中、皆さんが喜んでくださったので、主催者側も元気をいただき、ほつとしました。来年からは対象年齢の引き上げもなく80歳以上の方を対象に井原市からお祝いの補助をいただくようになります。敬老会の案内が届いたら参加してくださいね。

防災・まちづくり視察研修に参加して

県主地区防災会 佐藤聖子

9月10日に、防災・まちづくり視察研修に参加しました。研修のメインは真備町です。平成30年7月の西日本豪雨災害から6年。近隣の町のその後の復興がずっと気になっていましたので、このような計画を立ててくださったことを有難く思いました。

倉敷市職員さんや真備町服部地区まちづくり協議会会長さんからのお話、真備地区の3割が浸水していく状況やその時の対応のお話は、本当に体験した人ならではの説得力がありました。会長さんが「一軒一軒に避難の声掛けをして回った。地区から一人の犠牲者も出なかったことが一番嬉しい。」と話されていました。災害以前からコミュニティ作りが熱心な地域であったことが説明からも良く分かりました。



3つの教訓、『①個々が危機意識をもつこと②避難指示が出たら避難すること③声掛けを素直に聞き入れるコミュニティを作ること』が強く心に残っています。

県主地区も各自治会毎のコミュニティ作りに力を注ぎたいと、改めて思いました。大変有意義な研修であったと思います。



県の里

納涼盆踊り大会

実行委員長 藤井秀俊

残暑厳しき8月13日(火)、昨年が続いて納涼盆踊り大会が盛大に開催されました。当日は朝から皆様の協力で櫓を立てて提灯をつけ、各夜店のテントを張り、音響設備の設置や夜店への電源の配線等、午前中に何とか会場作りを済ますことができました。午後からは、それぞれの夜店の準備も進

み7時に盆踊り大会が始まりました。会場準備中に衆議院議員加藤勝信様の奥様が陣中見舞いに来られ、また開会行事には三宅副市長、小田県議、上田県議のご来場をいただき、盆踊りに華を添えていただきました。中学生の総合司会でプログラムが進み、いよいよ総踊りが始まり伝承教室で培った中学生の太鼓が響き、音頭が流れ、伝承教室の子どもたちの踊りに併せて大人も加わり、踊りの輪が次第に大きくなって県主の郷土芸能である鳥羽踊りが始まりました。その後も踊りとともに夜店も大盛況で、2時間余りの大会も無事終りを迎えました。最後に盆踊り大会のための計画、準備を進められた関係各位、会場に彩りを添えていただいた夜店の方々、又、来場していただいた方や踊りの輪に入って下さった方々に厚く御礼申し上げます。

第14回公民館

グラウンド・ゴルフ大会

公民館 藤田真也



11月24日、井原市グラウンドゴルフ場で第14回県主公民館グラウンドゴルフ大会を開催しました。朝露の残る芝コースから元気いっぱいスタートし、好天のもと好プレーに歓声が沸き、互いを称え合う世代間の交流ができました。今回は小学生9名を含む44名の参加者でした。成績

第14回県主公民館グラウンド・ゴルフ大会成績一覧

	一般男子	一般女子	小学生男子	小学生女子
優勝	岡田英臣	岡田吉恵	鳥越 快	槌田莉菜
準優勝	北田正次	森谷みつゑ	藤井碧輝	高橋由結
第3位	山本勝禱	北田昌子	蔵本 旭	
ホールインワン	北田正次	岡田吉恵	馬越利行	北田昌子
	佐藤憲司	森谷みつゑ	佐藤日和	

は次の表のとおりです。一般男女総合優勝は昨年引き続きご夫婦でのニアピン対決となり、見事、岡田吉恵さんに栄冠が輝きました。グラウンドゴルフ場の方から「県主の大会は本当に楽しそう」って言って頂きました。こんな楽しい大会に次回も是非ご参加いただきますようお願いします。

県主わくわくクラブ

～夏休み児童支援～

社協理事 岡本綾子



昨年から県主地区に住む小学生全員が対象になった県主児童支援『わくわくクラブ』が、今年も四日間にわたり行われました。今年、木之子中学校の生徒と高校生にボランティアの依頼をしたところ、それぞれ三～五人が来て手伝ってくれました。

まず7月25日はデニムで手提げバッグ作りを行いました。一人ひとり工夫を凝らしてじっくり製作をしていました。完成したバッグを手に写した記念写真はみんないい笑顔でした。8月1日はドライアイスでの実験やスライム作りをしました。実験を不思議そうにみる子どもたちが可愛かったです。7日はニュースポーツを楽しんだ後、手作りのサンドイッチやデザートを食べました。スポーツでお腹を空かせていたからか、おかわりする子もいて満足そうな顔が印象的でした。20日は縁日ごっこを行いました。参加した子どもたちは、からあげやかき氷などの屋台めしや輪投げなどの



ゲームを楽しみました。縁日風の飾り付けがされた集会室で食べたり遊んだりして夏祭り気分が味わえたようです。

どの日も中高生のボランティアが大活躍でした。小学校を卒業してからも、在校生と関わりを持てるいい機会になったと思います。

最後に、ご支援・ご協力くださいました皆様に心より御礼申し上げます。



ご寄付ありがとうございました
ございました

県主地区社会福祉協議会へ

富田 二郎様(亡母・5部)
藤井 薫様(亡母・2部)
岡田 敦子様(亡夫・3部)

紙面をもってお礼にかえさせていただきます。

出生おめでとう
ございます

森本裕介・莉子さん
男の子 陽奏ちゃん
(9月26日生まれ)

佐藤 奨・茜さん
女の子 楓華ちゃん
(11月18日生まれ)

県主地区の人口・世帯数

地区全体	世帯数: 526世帯
(門田町)	: 301世帯
(西方町)	: 225世帯
人口: 1,144人	
(門田町)	: 659人
(西方町)	: 485人
男	性: 532人
(門田町)	: 317人
(西方町)	: 215人
女	性: 612人
(門田町)	: 342人
(西方町)	: 270人
65歳以上	: 469人
(門田町)	: 288人
(西方町)	: 181人
高齢化率	: 40.9%
(門田町)	: 43.7%
(西方町)	: 37.3%

令和6年11月末現在

QRコード
県の里まちづくり推進協議会
県の里まちづくり推進協議会のページで「みんなの県主」が閲覧できます。[ホームページ]http://www.agatanosato.jp